

自衛官募集相談員に香囑されました

4月23日（月）役場にて自衛隊岐阜地方協力本部関係者が同席して、自衛官募集相談員委嘱式が行われました。

募集相談員とは、入隊希望者への募集情報の提供など自衛隊員の確保のために活動するもので、市町村長と地方協力本部長の連名で委嘱されます。

当町からは、城地区在住の片桐明彦さんが委嘱されました。

片桐さんは、「昨年発生した東日本大震災等、自衛隊への期待も大きくなっており、またこれからの自衛隊を担う人たちを一人でも多く募れるよう精一杯努めていきたい」と話されました。



▲委嘱状を手にする片桐明彦さん（中央）

岐阜ふるさとくらしの大使に香囑されました

4月24日（火）岐阜県シンクタンク庁舎で「岐阜ふるさとくらしの大使」の委嘱状交付式が行われ、新たに氷取地区在住の西山シゲ子さんが委嘱されました。

西山さんは、安八町農産物加工運営委員会の会長を務められており、添加物・着色料を一切使用せず自然の素材を活かした安八町の特産品の製造販売活動にご尽力いただいています。

また、その活動と併せてアグリ・エンジョイネット岐阜のグループ会員として郷土料理、農産物の加工、手工芸に関する技術を地域住民に広く紹介する活動も行っています。



▲委嘱状を手にする西山シゲ子さん

心温まる贈り物 ～安八町赤十字奉仕団「独居老人励まし運動」～

5月11日（金）安八町赤十字奉仕団（梶井和子委員長）の皆さんが町内の独居老人に元気を出してもらおうとタオルと手作りのおはぎを届ける活動を行いました。

これは、同会の独居老人励まし運動として会が発足して以来毎年行われており、今回で23回目となります。

当日は会員14人が保健センターに集まり、心を込めてきな粉餅とおはぎを作り、タオルと一緒に袋詰めをしました。

この贈り物は同日民生委員さんの協力により町内独居老人宅107世帯に届けられました。

梶井委員長は「届け先の方々の心が少しでも温まっていたらうれしいですね」と話されました。



▲安八町赤十字奉仕団の皆さん（手前は独居老人宅への贈り物）